

これまでの「当たり前」を問い直し、新しい「当たり前」を県民と共に創っていく

信州の豊かな環境を生かして、やってみたいことにとことん挑戦でき、  
多様な体験や経験を積み重ねていくことができる環境づくり

入試制度のあり方の見直し

- ・地域全体を学びの場にしていく
- ・学校という枠を超えた学び
- ・色々なチャレンジを通じて、失敗も成功も経験できる
- ・様々な意見が否定されない学びの場
- ・多様な世代や人が混ざり合う学びの場
- ・学校と公営塾等連携した地域の学びの創出
- ・受験と探究活動の関係
- ・入試制度の見直し(出欠席、成績、内申書などの扱い)
- ・自分の強みや得意な分野を生かしてチャレンジできる入試

## <学校のあり方に関する意見>

### 学校の自治を保障する

#### 教育課程の柔軟な運用

- ・自分の「好き」を突き詰められる場所としての学校
- ・教科学習だけでなく、子どもの思いや、夢・将来に合った学びの時間
- ・柔軟な時間割
- ・子どもが選ぶ授業

#### 自分らしくいられる場づくり

- ・子どもが自分らしくいられ、自分らしく学べる場
- ・校則の見直し
- ・先生・子どもという立場に縛られないフラットな関係

#### 自分らしく学べる場づくり

- ・自分のペースで学ぶことができる
- ・自分と向き合うことができる

### 教師の自由を保障する

#### 学校における働き方改革

- ・学校業務の抜本的見直し
- ・教材研究の時間の確保
- ・部活動のあり方の見直し

#### 教員の主体性を尊重する 職場づくり

- ・子どもの学びの伴走者としての教師
- ・試行錯誤しながら新しいことにチャレンジできる職場環境
- ・教員自身が自分を知る
- ・教員自身が楽しみながら学ぶ
- ・初任者としての不安への対応
- ・学校の責任を問う社会の不寛容

#### 保護者・地域との良好な 関係づくり

- ・匿名性を盾にした学校バッシング等に教育現場が疲弊している
- ・学びに対する多様な価値観を互いに理解し、認め合う社会づくりが必要
- ・学校・教員・子どもの新たなチャレンジを、応援し支えていく社会づくりが必要

## <学校外（地域を含む）のあり方に関する意見>

### 中山間地域における学びの魅力化

#### 小規模校の特性を活かした学び

- ・柔軟な学校づくり
- ・自由なカリキュラムの設計
- ・学年・学級を超えた自由度の高い学び
- ・子どもの認知に応じた柔軟な学び

#### 学びを支える環境の充実

- ・教員の処遇改善(へき地手当、年齢バランスを考慮した教職員配置等)
- ・教員研修や支援体制の充実
- ・学びの場の選択肢の拡充
- ・通学に伴う経済的負担の軽減

### 子どもの居場所・学びの継続

#### 多様な居場所・学びに対する 価値観の浸透

- ・保護者・地域住民に対して、多様な居場所・学びに対する理解促進

#### 関係機関との連携・協働

- ・教職員研修の場としてのフリースクールの活用
- ・教育関係者、居場所関係者、フリースクール関係者、保護者、行政等のプラットフォームの構築
- ・学校以外の学びの場・支援機関への情報アクセスの確保

#### 多様な居場所・学びへの支援

- ・団体、保護者への経済的負担の軽減が必要